

工具もインターネットで売る時代――。工具商社のトラスコ中山は2020年12月期までに、売上総利益（粗利益）に占めるネット通販の割合を現在の15%から20%に高める。同社の販路は専門店やホームセンターなどが中心だったが、MonotaRO（モノタロウ）

工具ネット通販粗利の20%目標

トラスコ中山 20年12月期までに

やアマゾンジャパン（東京・目黒）などを通じた販売を強化する。同社は粗利益を経営指標のひとつにしている。20年12月期は17年12月期実績に比べ24%多い513億円の粗利益を目指し、このうちネット通販で105億円を稼ぎ出す計画。ネット通販は同期間に7割伸びる計算だ。ネット通販は成長領域なうえ利益率も高いことから、経営の軸足を徐々に移す。一方、今後3年程度は粗利益の増加が営業利益の伸びには直結しない見通しだ。需要拡大に対応する全国に16ある物流センターを順次拡大し、減価償却費が増加するためだ。18年12月期の単独営業利益は前期比7%減の133億円を見込む。売上高は8%増える見通しだが、減価償却費が37億円増え、前期よりも約9億円増えるのが重荷になる。